

「遊休農地解消の取組」

京都府 宇治市農業委員会 笠取・東宇治地区連絡会議

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

| | |
|---------------------------|-----|
| ○ 農業委員： | 14人 |
| ○ 農地利用最適化推進委員： | 4人 |
| ○ 事務局職員： | 5人 |
| ○ 市町村行政との連携状況： | |
| 地区連絡会議に市担当者、事務局、現地推進役等が出席 | |



2 地区の特徴、状況、課題

- (市町村の概要) 宇治市は、昭和26年に2町3村が合併、京都盆地の東南部に位置する。
- (地区の概要) 東部は山麓丘陵地が広がり、西部は巨椋池干拓田に連なる平坦地となっている。
- (地区の課題) 山間部は、過疎・高齢化、後継者不足、有害鳥獣による農作物被害等の課題がある。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 令和2年度は地区連絡会議を4回開催、地域の課題と取組について話し合った。
- 第1回会議：笠取地域において農地付空き家バンクを事業化できないか話し合った。
- 第2回会議：新規就農者による空き家の取得と農地借入れの進捗について報告（東笠取地域）
- 第3回会議：新規就農者による農地の利用権設定の経緯を報告(西笠取地域)
- 第4回会議：新規就農を一層推進するため委員の相互連携を確認した。

4 成果（京力農場プランの目標実現に向けた取組内容）

- 京力農場プラン（人・農地プラン）の実質化の取組として、令和元年10月～12月にアンケートの実施と地図の作成を行った。
- 令和2年1月・2月の地区連絡会議では、農地地図を広げ、農地の現状と課題について話し合った。
- 令和2年度の地区連絡会議では、地域の話し合いの準備段階として、地域の課題について話し合った。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください